



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2021 2 月号

Vol.120

毎月1回発行(通巻120号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/>

第4回「医療経営に関する研究助成」2月1日より公募開始

医療経営士ならではの視点から 現場で役立つ実践的な研究を！

第4回(2021年度)「医療経営に関する研究助成」の詳細が決定した。指定課題研究は3題からの選択、懸賞論文「日本医療経営実践賞」は選考の対象を広げ、論文だけでなく事例研究のレポート等でも応募が可能となった。医療経営士からたくさんの応募をお待ちしている。

研究活動を発展させ 医療界や地域社会に還元

本協会が総額1000万円を上限に研究費の助成を行う「医療経営に関する研究助成」は、国民に安全な医療の提供を行う基盤を構築するために、医療および経営の学習と実践、現場感覚を備えた人材の育成、「民」主役の医療の確立に資することを目的に、2018年度よりスタートした。

助成対象者は医療経営士および医療経営に携わる個人・グループで、応募論文等と指定課題研究の申請内容を有識者による選考委員会(選考委員長・尾形裕也・九州大学名誉教授)が厳正に審査し、優秀論文等には「日本医療経営実践賞」と

がそれぞれ贈呈された。

指定課題は3題から選択
自身の成長につなげよう

2月1日(月)より公募が開始された第4回(2021年度)の指定課題研究は、①「ポストコロナ時代の医療経営」、②「医療経営におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)」、③「医師・看護師等の働き方改革」の3題からの選択となった。

3題はいずれも医療界が直面している重要かつタイムリーな課題で、薬局や医療関連企業等の医療機関以外からの応募も可能だ。医療経営士ならではの視点から研究テーマを深掘りし、現場で役立つ実践的な提言につなげていただきたい。公募から助成金交付までのスケジュールは表のとおり。

一方、懸賞論文「日本医療経営実践賞」については、今回から選考の対象を広げ、論文だけでなく事例

研究レポート等を含め、形式を問わず内容の優れた研究成果を選考することになった。例年以上に多くの医療経営士からの積極果敢な挑戦を期待したい。公募締切は5月11日(火)(当日消印有効)。

なお、応募要項等の詳細については、本協会ホームページを必ずご確認ください。

表 指定課題研究における公募から助成金交付までのスケジュール		
手続	内容	時期
① 公募	本協会ホームページでの案内、業界紙への掲載および各関係先への配布	2月1日(月)～3月31日(火)
② 選考委員会による助成対象者の決定	選考委員会の開催 助成対象者の決定	5月中旬予定
③ 結果発表	本人への郵送による結果通知	5月下旬予定
④ 助成金交付	本協会ホームページへの対象者の掲載 対象者(申請者)の助成金専用口座開設 助成金専用口座への助成金交付	5月下旬～6月末 7月下旬予定

※懸賞論文「日本医療経営実践賞」は、5月11日(当日消印有効)締め切り後、査読を経て候補作が絞り込まれ、選考委員会において別途最終決定される。

第4回(2021年度)「医療経営に関する研究助成」案件募集

助成総額上限
1000万円
医療経営士の
挑戦を求む！

1 懸賞論文「日本医療経営実践賞」

【公募締切】5月11日(当日消印有効)

- 募集内容：医療経営に関する論文等でテーマは自由とする
※懸賞論文と指定課題研究の両方に応募することは可能だが、指定課題研究と同一テーマで応募することは不可
※研究成果については、論文のほか、事例研究レポート等を含め、形式を問わず内容の優れたものを選考する
- 対象者：医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ
- 賞金金額：優秀な論文を表彰し、併せて賞金100万円を授与する
- 原稿字数：12,000字以上20,000字以内
※未発表論文に限る

2 指定課題研究

【公募締切】3月31日

- 募集内容：①ポストコロナ時代の医療経営
②医療経営におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)
③医師・看護師等の働き方改革
※①～③いずれか1つの課題を選択。同時応募は不可
※医療機関以外からの応募も可
- 対象者：医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ
- 助成金額：1件当たり50万円～250万円を予定(件数未定)
※指定課題研究助成と懸賞論文とを併せて総額1,000万円を上限とする
- 助成研究期間：原則1年間(2021年6月1日～2022年5月31日)

資格取得で得た知識を武器に 地域医療に貢献する



いとうたかふみ
伊藤 隆文氏
エーザイ株式会社
中日本キーマカウント推進部
ディレクター

今 回の1級試験は、COVID-19の影響で在宅勤務が増え、時間に余裕ができたのでチャレンジしようと思いました。

私が選択した第二次試験のプレゼンテーマは、「2022（令和4）年度診療報酬改定に向けて病院が備えておくべきこと」です。過去数年間の中医協資料を読むなど勉強する内容は広範にわたりましたが、診療報酬改定の流れを深く理解することができました。1級受験で得た知識は、医療法人の経営層に情報提供をする際に非常に役立っています。

今後は、地域医療構想を踏まえ、医療法人が目指す方向性について、各医療機関の経営層とディスカッションを行い、地域医療に貢献するためのアドバイスができる医療経営士になりたいと考えています。

相手や状況に応じて 的確に伝える力が問われる試験



いのうえまさと
井上 誠人氏
学校法人埼玉医科大学
総合企画部企画財政課
課長

私 は、法人全体の総合的な計画・企画の立案や調整にかかわっています。トップマネジメントの意思決定を支援する際に求められる、組織・地域を俯瞰し、全体最適のアウトプットを行うスキルを高められると考え、取得が目的ではなく手段として1級試験に挑戦しました。

短文・論文記述やプレゼンでは、3級・2級のインプット学習だけではなく、習得した知識を目的、状況、相手の求めに応じて、いかに的確に伝えられるかが問われます。合格に向けて、その対策を講じていくことが重要だと感じました。

外部環境が激変しようとも変わらずに、優れた医療人の養成と地域医療・高度医療の提供という本学のミッション達成を目指し、事務職員としての役割を果たし貢献できるよう、一層の自己啓発・相互啓発を図りながら、組織と地域のために活動していきたいと考えています。

大きな変革が迫られる 医療業界を支援していきたい



うえむらりょう
植村 亮氏
有限責任監査法人トーマツ
リスクアドバイザー事業本部
ヘルスケアマネジャー

あ る病院の事務課長から受験をすすめられたことをきっかけに、医療経営士の資格取得に取り組むようになりました。自己研鑽・評価の意味合いからも最上位資格である1級の受験を決心しました。

合格に向けた取り組みのなかで、医療や仕事に対する視野が大きく広がりました。学習を通じて視野を広げること、実務へとつなげていくことが何よりも重要だと考えています。

医療業界はCOVID-19の流行により大きな変革が迫られていると感じています。試練でもあり、新たな発展の契機でもあります。変革を迎えようとしている医療機関をこれまで以上に支えていくことが目標です。

病院幹部の1人として 安定した経営を実現したい



ありたせいじ
有田 誠司氏
社会福祉法人聖隷福祉事業団
聖隷佐倉市民病院
医局 副院長

医 師は経営学を系統的に学ぶ機会がなく、医療の経営学を学びたいと思ったことが資格取得のきっかけです。長年、現場の臨床診療に邁進してきましたが、現在は病院幹部の1人として、安定した病院経営を他職種とともに実現したいと考えています。

医療経営士は医療にかかわるあらゆる職種にとって、経営学や最新の医療情勢を学ぶ最高の場を提供してくれます。職種を超えた横のつながりができ視野も広がりました。1級は論文記述やプレゼンがあり大変難しいのですが、努力した分、得るものは大です。

国の医療費の増大や人口構造の変化に対応し、良質な医療システムを提供しながら病院経営を持続させるためには、医療経営士の存在が不可欠と感じます。国民皆保険を守るためにも全国の医療経営士の皆様と活動したいと考えています。

医師や医療機関から 信頼される存在になりたい



あんだうまゆみ
安藤 真由美氏
株式会社エムステージ
MHR事業部東京本社
マネージャー

医 師や医療機関の担当者様との日々のやりとりのなかで、2級までに勉強した知識が業務に活かされていることが多く、その流れで1級試験にチャレンジしたいと思いました。

1級合格には診療報酬改定の知識はもちろん、医療業界の直近5～10年の流れなどから自分なりに洞察・推察する力が必要で、それらをアウトプットする伝える力も求められます。雑誌などから幅広い知識を吸収することを意識しましたが、特に東日本税理士法人・長英一郎先生と「医療くん」のYouTubeチャンネルが大変参考になりました。

人材紹介会社である弊社の業務内容から、私は医療人材に関するプロフェッショナルでありたいと思っています。今後は1級取得者としての自覚を持ち、医師や医療機関の皆様から頼られる、相談される医療経営士になりたいです。

コロナ禍でも前進したい その思いから1級に挑戦



いずみたかふみ
出雲 貴文氏
医療法人沖縄徳洲会
千葉西総合病院
薬剤科 薬剤師

医 療経営士の資格認定制度を知ったのは、千葉県病院薬剤師会の医療政策委員となり、医療経営について学びたいと思ったことがきっかけでした。2020年がCOVID-19一色で終わってしまうことが悔しく、コロナ禍でも前進したいと思い立ち、1級を受験しました。

資格は取得してどうなるかではなく、取得するまでの過程が大事だと思います。目標に向かって勉強し、知見を広げると、今まで見えなかったことが見えてきます。第一次試験の対策としては、実際に文章を書くところまで練習することをおすすめします。

2020年に「ちば研究会」が発足し、勉強会をWEBで定期開催しています。千葉県以外の方も参加可能ですので、ぜひご参加ください。地元から仲間を増やし、具体的な活動を共有していきたいと思っています。

1級合格者が語る 新年の抱負

コロナ禍を乗り越え 新時代の医療に貢献を！

第8回「医療経営士1級」資格認定試験 13人が合格 累計合格者100人突破！

2020年12月24日（木）に第8回「医療経営士1級」資格認定試験の合格者が発表された。同年9月6日（日）実施の第一次試験（短文記述形式10題＋論文記述形式2題）では受験者49人中18人が合格（合格率36.7%）し、続く12月6日（日）実施の第二次試験（プレゼンテーション＋口頭試問）では受験者18人中13人が合格（合格率72.2%）した。コロナ禍のなかでも挑戦の歩みを止めず、見事合格を果たした方々に受験後の感想や新年の抱負をうかがった。

難関試験だからこそ 得られるものは多い



まえかわ いっせい
前川一成氏
株式会社麻生
病院コンサルティング事業部

コンサルタントとしてクライアントである医療機関様とやりとりを行うなかで、自身の知識不足や視野の狭さを感じていました。医療経営に関するより広く深い知識が必要だと考え、受験しました。

筆記試験やプレゼンの対策を進めていくうちに、日頃から自分の考えに基づいて物事を簡潔にまとめる習慣が身につき、とても良い機会だったと感じています。試験範囲が広く勉強は大変ですが、その分、得られるものは多いと思います。皆さんもまずは一歩前へ踏み出しましょう。

ありがたいことに合格はできましたが、まだまだ知識や経験不足を感じています。結果に満足せず、日々の努力を積み重ねて、1つでも多く医療機関様のお役に立てるように取り組んでいきたいと思っています。

第8回1級試験DATA

第1～8回試験までの累計合格者数は101人（男性91人、女性10人）。第8回と過去試験における受験者数・合格者数・合格率の推移、合格者の年齢別構成や勤務先別構成は表のとおりである。

●受験者数・合格者数・合格率の推移

	試験回	受験者数	合格者数	合格率
第1回	第一次試験	18人	8人	44.4%
	第二次試験	8人	7人	87.5%
第2回	第一次試験	19人	10人	52.6%
	第二次試験	10人	10人	100.0%
第3回	第一次試験	26人	11人	42.3%
	第二次試験	11人	11人	100.0%
第4回	第一次試験	26人	12人	46.2%
	第二次試験	12人	11人	91.7%
第5回	第一次試験	43人	20人	46.5%
	第二次試験	20人	15人	75.0%
第6回	第一次試験	53人	15人	28.3%
	第二次試験	15人	11人	73.3%
第7回	第一次試験	74人	29人	39.2%
	第二次試験	29人	23人	79.3%
第8回	第一次試験	49人	18人	36.7%
	第二次試験	18人	13人	72.2%

●合格者の年齢別構成

年齢	第8回	第1～8回累計
30代	1人(7.7%)	37人(36.6%)
40代	5人(38.5%)	32人(31.7%)
50代	6人(46.2%)	29人(28.7%)
60代以上	1人(7.7%)	3人(3.0%)

●合格者の勤務先別構成

勤務先	第8回	第1～8回累計
病医院	4人(30.8%)	45人(44.6%)
医療関連企業	2人(15.4%)	18人(17.8%)
医薬品製造販売・卸売	5人(38.5%)	18人(17.8%)
金融機関	0人(0.0%)	8人(7.9%)
その他(士業等)	2人(15.4%)	12人(11.9%)

※年齢・勤務先は受験時のものです。カッコ内の数字は全体に占める割合

医薬品とDXを融合させ 課題解決につながる提案をしたい



なが い のぶき
長井伸之氏
エーザイ株式会社
西日本キーマカウント推進部
ディレクター

製薬会社に籍を置き、診療報酬・医療制度など医療経営に関するさまざまな情報提供を行う部署に所属しています。3級、2級の受験で多くの知識を習得することができたことから、さらなる知識習得と自己成長を目的に1級を受験しました。

1級試験では、これまで身につけた知識をより成熟させることができました。数多くの2級ホルダーが1級を目指され、医療経営や患者様への貢献に応用されますことを期待しています。

製薬会社は医薬品の適正使用に資する情報提供を主として活動していますが、私は地域包括ケアの実現を推進する重要なステークホルダーの一員になりたいと考えています。医薬品とDX(デジタルトランスフォーメーション)、医療安全、医療制度、診療報酬を融合させ、課題解決につながる提案をしていきます。

忙しい合間でも学べ 視野が広がる有用な資格



ひろ せ むねたか
廣瀬宗孝氏
兵庫医科大学
麻酔科学疼痛制御科学講座
主任教授

長年、医療の現場で働いていると目の前のことばかりに気をとられて、医療全体を俯瞰する視野が疎かになっていました。そこで医療制度や病院経営の仕組みを基礎から知りたいたいと思い、資格取得にチャレンジしました。

医療経営士の資格は定期的に通学する必要があると思います。3級から1級まで順を追って資格を取得することで、自然と視野が広がりました。医療の現場で忙しく働いていて医療全体の仕組みを知りたいと考えている方には、おすすめの資格です。

今後は、国や都道府県が目指す医療の方向性を鑑みて、診療・研究・教育を行っていきたいと思っています。

医療関係者と組織の垣根を超えた ネットワークを構築する



ほり お あつし
堀尾篤史氏
小野薬品工業株式会社
エリアサポート推進部

2級、3級試験で学んだ知識を実務に活かすためには、より実践的な知識と応用力、思考力が不可欠となるため、1級試験の学びが必要と考えました。

1級試験では、これまで学んだ多くの知識から必要な情報を抽出し、要点を簡潔にまとめ、わかりやすい表現を用いて相手に理解していただく能力が求められます。そのため、試験対策を通して実務に応用できる多くの知識を身につけることができましたと感じています。

今後は、日本医療経営実践協会の地域支部で開催されている研究会に積極的に参加し、学びを深めると同時に、他の医療経営士の皆様との交流範囲を広げていきたいと考えています。また、医療関係者と組織の垣根を超えたネットワークを構築し、地域医療に少しでも貢献していくことが目標です。

互いに切磋琢磨しながら 日本の医療制度を堅持しよう



おお た ひで お
太田秀夫氏
エーザイ株式会社
首都圏キーマカウント推進部
ディレクター

目の前の患者様や医療従事者に貢献するために、医療経営士を志す「学び」が大変役立ちました。新型コロナ肺炎による不安で不透明な環境においても、「もっと貢献したい!」という思いから1級試験にチャレンジしました。

たくさんの医療経営士の皆さんにご指導いただけたことが何よりの財産になりました。今後も多くの方が医療経営士を目指され、互いに研鑽を重ねていけることを願っています。一緒に日本の素晴らしい医療制度を堅持していきましょう。

ウィズコロナ社会における患者様とご家族の満足度向上につながる医療経営とは何か、医療従事者が安心して働ける環境とは何か、2025年、2035年へ向けた最適な準備とは何か——多くの医療経営者に具体的な問いと提案で貢献してまいります。

コロナ対応で得た知見を 医療経営士の仲間と共有したい



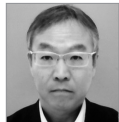
か し ま たかし
加嶋隆氏
市立豊中病院
事務局病院総務課
事務局次長兼病院総務課長

3級を受験したときから1級挑戦を考えていました。2級合格後は、全国大会での演題発表を経てから受験すると決め、第7回札幌大会でその機会をいただきましたので、今回受験しました。また、自施設でのコロナ対策の活動を通じて医療経営士の重要性を再認識したことも大きな動機付けとなっています。

テキストの通読を経て知識の整理や新たな気づきがあり、仕事に幅が出たと感じています。会員向けに月2回配信されるメルマガは、国の医療政策の動向を把握し、情報を整理するのに役立ち、試験対策にも有用でした。

コロナ収束後はコロナ対応で得た知見や経験を医療経営士の皆さんと共有し、新たな感染症流行に備えた活動ができればと考えています。日々研鑽に努め、「医療経営に関する研究助成」にも挑戦したいと思っています。

自分の言葉で発信する力を 得ることができた



くぼ た よしひと
窪田芳人氏
エーザイ株式会社
北日本キーマカウント推進部
ディレクター

医療法人の経営層との面会が増えるにつれ、経営層への提言に資する高度な知識を習得し、今後の活動の場を広げていきたいと考え、1級試験にチャレンジすることを決意しました。

資格取得で得た知識をどのように経営層に提言していくかが非常に重要であると感じています。1級試験合格に向けた勉強では、経営戦略の策定や将来に備えるために必要な実践的な手法を身につけ、「自分の言葉で発信する力」を得ることができました。

新型コロナウイルス感染症の影響で近未来の病院経営を再考する時期がきております。各地域においては将来にわたり良質な医療提供体制を維持する必要があります。製薬会社社員として医薬品の情報提供に加え、医療経営に資する情報提供を通じて地域包括ケアシステムの維持・推進に少しでも貢献したいと考えています。

事務局 掲示板

WEB講座を活用し
専門性と実践力を高めよう！

日本ヘルスケア経営学院では、医療経営士が講師を務める当協会公認のWEB講座（実践研究講座）をはじめ、WEB講座（出前講座）を開催中です。医療経営士の専門性や実践力を高める講座として、大変ご好評をいただいております。ぜひ、ご活用ください。

開催中のWEB講座

実践研究！「看護職員の確保と定着」

実践研究！「知っておきたいこれからの医療税務」～2020年の税制改正からその先の展望まで～

『ヘルスケア業界データブック2020』
発刊記念WEBセミナー
データから読み解く医療機関の経営状況と
コロナ後に求められる新戦略

栄養経営特別セミナー 症例検討
「チーム医療に参画する為に
知っておきたい知識」

新型コロナウイルス感染症に係る
介護サービス事業所の対応策

●お問い合わせ先

日本ヘルスケア経営学院事務局

【TEL】03-3553-2862

【専用サイト】<https://hcmi-s.net/>

PICK UP 研究会

2/12 東北支部

第2回みやぎ仙台ネットワーク
病院経営って何っしょ？

～医療収支の理解と具体的取組み 超初級編～

宮城県の医療経営士による自主研究会「みやぎ仙台ネットワーク」では、医療収支（超初級編）の理解を目的とした研究会をZOOMによるリアルタイム配信で開催する。

講師は同ネットワークの幹事メンバーで石巻赤十字病院総合患者支援センター係長の松本裕樹氏。講義だけではなくグループワークなどを通して、参加者同士で情報交換しながら、親睦を深める。

- 日時
2月12日（金）19:00～
- 開催方式
WEB（ZOOMミーティング）
- 参加費（税込）
無料 ※医療関連企業にお勤めの方は医療経営士のみ参加可
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会東北支部
TEL:022-281-8536（担当：三浦、浅石）

2/13 中国支部／九州支部

現場の経営力を高める藤井塾

中国支部・九州支部では、特定医療法人谷田会 谷田病院事務部長の藤井将志氏を講師に迎えた研究会をオンラインで開催する。

研究会ではまず、藤井氏が特定テーマ・ニュースに関して情報提供し、高良台リハビリテーション病院の小坂佑士氏による実践報告のあとディスカッション「新卒社員の育て方」などが行われる。ライブ配信終了後は録画配信を実施する。

- 日時
2月13日（土）14:00～
- 開催方式
①ライブ参加型（ZOOMライブ配信）
②視聴型（録画配信：配信期間2週間）
- 参加費（税込）
会員2,000円／非会員4,000円
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会九州支部
TEL:092-418-2828（担当：杉安）

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
2月12日（金）	東北	第2回みやぎ仙台ネットワーク 病院経営って何っしょ？～医療収支の理解と具体的取組み 超初級編～	松本裕樹氏（石巻赤十字病院総合患者支援センター係長）
2月13日（土）	東北	医療・介護経営セミナー2021 2021年度介護報酬改定の全貌を徹底解説！ ウィズコロナ・アフターコロナ時代の経営戦略とは	糠谷和弘氏（株式会社スターコンサルティンググループ 代表取締役）／ 土井勝幸氏（医療法人社団東北福祉会介護老人保健施設 せんだんの丘施設長）
	中国／九州	現場の経営力を高める藤井塾	藤井将志氏（特定医療法人谷田会谷田病院事務部長）
2月18日（木）	関東	介護報酬改定カフェ 第3回（全3回）	石井富美氏（多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長）
2月26日（金）	北海道／東北	社会保障&改定ゼミ（北海道ヘルスケアマネジメント研究会） 2021年度介護報酬改定を踏まえた withコロナ時代のマネジメント 第3回（全3回）	神内秀之介氏（ふくしのよろずや神内商店合同会社代表）
3月27日（土）	関西	医療経営士・介護福祉経営士・栄養経営士関西支部合同研究会 2021年度介護報酬改定～加算取得のポイントを読み解く～	大藪直史氏（日本クレアス税理士法人・上田公認会計士事務所）

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

2040年を見据えた“ポストコロナ”時代における経営戦略の羅針盤

日本ヘルスケア
経営学院
公開講座

2021年度介護報酬改定
重要ポイント徹底解説

2月上旬より
WEB配信
開始！

講座概要



●講師
江澤和彦氏
（日本医師会常任理事、
社会保障審議会
介護給付費分科会委員）

●受講料：8,000円＋税
●講義時間：140分
●配信期間：2021年6月30日まで

●講座のポイント
介護給付費分科会での議論の流れを当事者が徹底解説！
21年度改定の背景と厚生労働省が描く
シナリオのねらいがわかり、未来が読める！

【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局（日本医療企画内） ☎03-3553-2862 <https://hcmi-s.net/>